

「新型電子メーターによる遠隔検針の実証試験」について

1. 新型電子メーターの機能

30分単位での電気使用量の計量・記録
 双方向の通信機能
 遠隔操作による開閉機能（電気の入・切）
 停電検知機能



2. 実証試験のイメージ

新型電子メーターを当社管内の約2,000戸のお客さまに設置。

以下の3パターンに分けて、平成22年度下期から平成24年度末まで順次実施。

パターン1

〔凡例〕

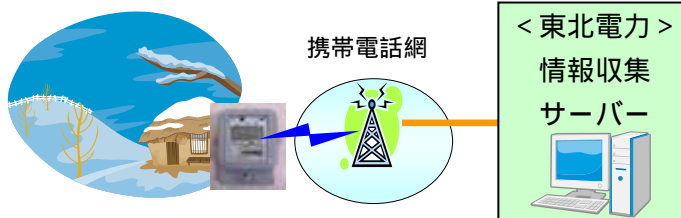
携帯パケット通信

無線通信

光ケーブルなど

屋内電力線

【対象例】
 山間部で冬季間積雪等により検針が困難な箇所等
 【検証項目】
 携帯電話網を利用したデータ収集
 【実証規模】約800戸
 【実施場所】各県1～3エリア



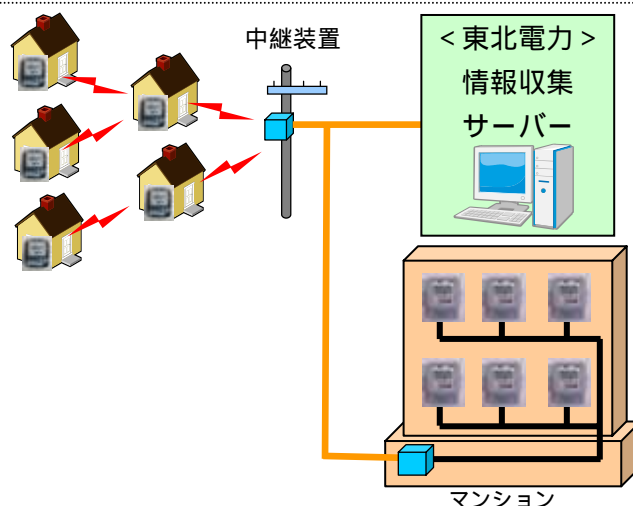
パターン2

【対象例】
 市街地で、メーターが高い位置にあるなど検針がしにくい箇所等
 【検証項目】
 無線検針端末を用いたデータ収集
 【実証規模】約200戸
 【実施場所】各県1エリア



パターン3

【対象例】都市部の住宅密集地およびマンション等
 【検証項目】
 ・メーター同士が相互に無線接続し、上位の有線回線へとデータを伝送する通信方式
 ・メーターから屋内電力線（建物内の電気配線）を経由し、有線回線へとデータを伝送する通信方式
 など種々の通信方式を組合せたデータ収集
 【実証規模】約1,000戸
 【実施場所】仙台市およびその近郊など



以上